



開会式1



開会式2

南海トラフ巨大地震を想定した県総合防災訓練が「防災の日」、9月1日に先がけ、令和元年8月31日(土)三島市立北上小学校体育館に於いて、災害時における避難所開設訓練が実施されましたので取材しました。

主な訓練項目は下記5点

- ①体育館内を地区別に避難場所の割り振りと表示、及び発電機による投光器の設置
- ②仮設トイレ組み立て設置と使用方法の説明
- ③AEDの使い方と胸骨圧迫法、簡易担架作製と運搬方法、三角巾の取扱い方の訓練
- ④炊き出しの実践と試食
- ⑤初期消火訓練(手持ち消火器と水バケツリレー)

地元3地区から約200名が参加する中、避難所開設訓練の開会式が始まりました。(写真上左右)



菅田公一 本部長



三島市 豊岡 市長

本部長、徳倉第5町内会長 菅田公一様(72歳)より本日の訓練内容と必要性について説明がありました。(写真左上)

豊岡武士 三島市長より、地域の絆づくり、地域力アップなど激励の言葉を頂きました。(写真右上)



[避難所作り](#)

町内会役員の指導で、体育館内に地区ごとにシートを敷き、カーテンによる間仕切りを取り付け避難スペース作りが参加者の手で実施されています。小中学生、保護者の方、そして高齢者の方、参加者全員で協力しながら作業が進んでいます。(写真左上)また、発電機による投光器の作動試験も実施されました。

[炊き出し用 お米](#)

参加者の方々が持参下さいました炊き出し用のお米、沢山集まっています。(写真右上)



[炊き出し1](#)

炊き出し訓練の様子、大きなガスコンロと大鍋10セット以上揃っています。写真右上は炊きあがったご飯です。また米の炊き方として専用のビニール袋に米を入れ密封、これをお湯の中に投入する方法も実施されています。

[炊き出し2](#)



[簡易トイレ](#)

町内会役員指導による、簡易トイレの組立て方と使用時の注意事項について説明と訓練が行われています。(写真左上)

[三角巾取扱い](#)

消防団員指導による、三角巾の取り扱い、AEDの使い方と胸骨圧迫法、簡易担架の作製と運搬方法、これらを訓練し学びました。中学生ボランティアも多く参加しています。(写真右上)



[手持ち消火器訓練](#)

消防団員指導による、手持ち消火器の取り扱い説明と、初期消火訓練の実践(写真左上)

[水バケツリレー](#)

全員参加による水バケツリレーによる初期消火訓練(写真右上)



菅田 本部長



閉会式

今回のような訓練を通じ、地域の幅広い年齢層の方々の交流によりコミュニケーションが生まれ地域力も向上します。万一の災害時にもお互い助け合う心が芽生えます。そして被災者の心と体の健康をお願いします……と菅田本部長が話をされています。

豊岡 三島市長のお話の中でよく耳にするのが地域の絆づくりです。万一避難所生活をしなければならぬような場合に隣で寝起きを共にする人が全く知らない人と、知っている人とでは心の負担に大きな違いが生じると思います……その為にも地域の絆を大切にしましょう！

地域の行事には→市民運動会、防災訓練、神社祭典、地域内の清掃活動、敬老大会、どんど焼き等、多くの行事が実施されています。このような活動に参加する事によって地域の絆づくりに役立つのではないのでしょうか。

本日訓練に参加された地元の皆様、町内会役員、市の現地配備員、地元消防団、中学生ボランティア、皆様の頑張りで予定通り全ての訓練が無事終了し閉会式です。(写真右上)

取材：中伊豆地区担当 安藤 智章